

風水害に対する備えを check!!

普段の準備は…

- 側溝や排水口の掃除をして、水はけを良くしておく
- 避難場所と避難経路を確認しておく
- 家族が離れ離れになったときの集合場所を決めておく
- 非常持ち出し品を準備しておく

※非常食や救急医薬品、携帯ラジオ、懐中電灯、予備電池、衣類、携帯ボンベ式コンロなど

- 屋根瓦のずれやテレビアンテナ、ブロック塀のひびなどの不具合がないか点検・修理しておく

台風の接近や大雨による災害の恐れがある場合は…

- 気象情報に注意する
- 風で飛ばされそうな物を片付け、固定する
- 窓や雨戸をしっかりと閉め、必要な場合は、板などで補強する
- 床上浸水の恐れがある場合は、生活必需品を高い場所へ移す

避難する場合は…

- ガスの元栓を閉め、電化製品の電源を切り、戸締りをする

- 頭はヘルメットや安全帽で保護する
- 靴は、丈夫で底の厚いものにする
※長靴は、水が入ると歩きにくいので避ける
- がけ崩れや土石流が起りやすい場所や河川には近づかない
- 引き続き気象情報や注意報などに注意する

土砂災害電話応答システム

防災に関する情報(県の観測所のデータに基づく情報)を得ることができるシステムです。台風が接近しているときや集中豪雨などの際には、早めに情報を収集して対策を立てましょう。

得られる情報は…

- 市内の雨量や河川の水位などに関する情報
 - 気象に関する注意報や警報など
- ※情報は、旧市町村の区域ごとです。

電話番号(通話は有料)

- 今市地域 30-7261、7262
- 日光地域 21-0359、0428、0464
- 藤原地域 30-3417、3418
- 足尾地域 30-3419、3420
- 栗山地域 21-0273



風水害に備える!

突然襲い掛かる自然の驚異

毎年、日本各地で台風や大雨による災害が発生し、尊い命が失われています。市内でも、豪雨による土砂崩れや河川のはんらんなどの災害が何度も発生しています。過去の災害からの教訓を踏まえ、風水害に備えましょう。

くわしくは 総務課 行政係 ☎ 21-5130

◆台風が来る前に

暴風雨や高潮、高波など、さまざまな被害をもたらす台風。しかし台風は、突発的に発生する地震などと違って、発生してから接近するまでに時間的な余裕があります。台風が発生したときは、被害を最小限に抑えるため、テレビやラジオなどの気象情報に注意し、進路や大きさをよく把握しておきましょう。

◆突然の集中豪雨

狭い範囲に突然、短時間に降る大雨。集中豪雨は、気象レーダーなどの観測網にかかりにくい現象なので、情報が提供されるまでに時間がかかり予測が困難です。そのため、日ごろからの備えを万全にし、大雨の情報を聞いたらずぐに対処できるようにしておきましょう。

◆土砂災害の特徴と前ぶれ

▼地すべり
特徴は…
粘土などのすべりやすい層

を境に、その上の土がそっくり動きだす。

前ぶれは…

- 地面にひび割れができる。
- 地面の一部が陥没する。
- 沢や井戸の水が濁る。
- がけや斜面から水がわいてくる。

▼斜面崩壊

特徴は…
がけ崩れや山崩れなどで、突発的かつ短時間に起こることが多い。
前ぶれは…
○小石がパラパラと落ちてくる。

▼土石流

特徴は…
土や石と水が一体となって流れ落ちてくる。昔から「山津波」や「鉄砲水」などと呼ばれている。
前ぶれは…
○山鳴りや木立の裂けるような音、ドンといった音がする。
○雨が降り続けているのに、川の水が急に減り始める。
○川の水が濁ったり、倒木が流れてきたりする。

◆台風の基礎知識

台風とは、熱帯地方の海上にできる低気圧のうち、中心付近の最大風速が17m/秒以上のものをいいます。台風が接近すると、気象台から台風の強さと大きさ、現在位置、予測進路、中心付近の風速などが発表されますので、情報をよく聞き風水害に備えましょう。

台風は、最後には低気圧になります。しかし、低気圧になつてからも、台風並の雨と風で被害をもたらすことがありますので、引き続き警戒が必要で。

▼台風の強さ
強い台風：最大風速33〜44m/秒未満
非常に強い台風：最大風速44〜54m/秒未満
猛烈な台風：最大風速54m/秒以上

▼台風の大きさ
大型の台風または大きい台風：風速15m以上の範囲の半径が50km〜80km未満
超大型の台風または非常に大きい台風：風速15m以上の範囲の半径が80km以上

▶▶雨量・風速に関する豆知識◀◀

▶雨量と災害の関係

1時間雨量	予報用語	雨の降り方	予想される被害など
10mm以上 20mm未満	やや強い雨	ザーザー降る	長く降り続く場合は注意が必要
20mm以上 30mm未満	強い雨	どしゃ降り	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる
30mm以上 50mm未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	山崩れ・がけ崩れが起こりやすく、都市部では下水管から雨水があふれる
50mm以上 80mm未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	土石流が起こりやすく、都市部では地下鉄や地下街に雨水が流れ込む場合がある
80mm以上	猛烈な雨	圧迫感や恐怖を感じる降り方	雨による大規模な災害の発生する恐れが強い

▶風速と災害の関係

平均風速(秒速)	予報用語	人への影響	建築物への被害
10m以上 15m未満	やや強い風	風に向かって歩きにくい	取り付けの不完全な看板やトタン板が飛び始める
15m以上 20m未満	強い風	風に向かって歩けず、転倒する人もいる	ビニールハウスが崩れ始める
20m以上 25m未満	非常に強い風(暴風)	しっかり身構えないと転倒する	鋼製シャッターが崩れ始め、風で飛ばされた物が当たりガラスが割れる
25m以上 30m未満		立っていられず、屋外での行動は危険	ブロック塀が壊れ、取り付けの不完全な屋外装材がはがれ飛び始める
30m以上	猛烈な風		屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊が始まる